

2. (新) 2万人の雇用創出

主要施策 P. 41

1 趣 旨

本市では、市民生活を支える基盤である安定した雇用の場を確保するため、平成 14 年度から 2 度にわたり「2 万人の雇用創出」に取り組み、目標を達成してきた。しかし、一昨年から続く世界的な景気低迷により、雇用情勢についても厳しい状況が続いている。

国の平成 22 年度の経済見通しにおいても、「景気は緩やかに回復」するが、「雇用情勢に厳しさが残り、完全失業率は高止まる」とされている。

このため、平成 22 年度からの 4 年間についても、第三次の取組みとして、新たな「2 万人の雇用創出」を目指し、全市一丸となって、「働く場」の確保に取り組んでいく。

この取組みは、「『知の集積』の推進」、「『ものづくり』の振興」、「商業・集客観光分野などの振興」、「健康福祉・教育分野などの振興」の 4 本の柱により、新たな 2 万人の「雇用の場」の創出に取り組み、平成 22 年度は 3,500 人の「雇用の場」の創出をめざす。

2 事業内容及び実施計画

事業内容	雇用創出予定人数 (人)				
	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	合計
1 「知の集積」の推進	600	700	1,100	1,100	3,500
(1) 先端医療関連分野					
(2) 情報・環境関連分野など					
2 「ものづくり」の振興	500	900	1,300	1,300	4,000
3 商業・集客観光分野などの振興	1,200	1,800	2,500	2,500	8,000
(1) 商業・物流関連分野					
(2) 空港関連分野					
(3) 集客観光関連分野					
(4) 農水産関連分野					
4 健康福祉・教育分野などの振興	1,200	1,100	1,100	1,100	4,500
(1) 健康福祉関連分野					
(2) 教育関連およびその他の分野					
合 計	3,500	4,500	6,000	6,000	20,000
..... (うち企業誘致分)	1,700	2,300	3,000	3,000	10,000
..... (うち新規創業分)	100	100	400	400	1,000

3 「2万人の雇用創出」関連施策

(1) 「知の集積」の推進

神戸医療産業都市構想の推進により、医療関連産業の集積をはかるとともに、既存産業の高度化を進める。また、次世代スーパーコンピュータを中核として、産学官が一体となって、世界最高水準の研究教育拠点の形成に向けた支援を行うほか、「デザイン都市・神戸」の取組みを進めるなど、「『知の集積』の推進」をはかる。

(2) 「ものづくり」の振興

製造業の設備投資補助など、市内中小企業（製造業）の活性化を総合的に支援していくとともに、起業や新分野進出などに取り組む「挑戦企業」を支援していく。また、成長分野である新製造技術・新素材関連産業の集積を推進し、「『ものづくり』の振興」をはかる。

(3) 商業・集客観光分野などの振興

商業・物流関連分野では、中小企業活性化プログラムに基づき、これまで神戸経済を支えてきた商業の活性化を推進するほか、新規創業への支援、再開発ビルへの誘致などを推進する。空港関連分野では、ビジネス客や観光客など空港利用者の増加につとめ、路線ネットワークを充実させるとともに、空港関連産業の誘致をはかる。また、観光関連分野においては、魅力ある観光交流都市づくりを推進し、観光客の増加をはかる。さらに、農水産関連分野では、神戸市農漁業ビジョンの推進により、多様な担い手の育成などをはかっていくなど、「商業・集客観光分野などの振興」をはかる。

(4) 健康福祉・教育分野などの振興

市民福祉総合計画を推進し、保健医療福祉サービスの充実をはかり、高齢者・障害者・児童を含めたすべての市民が、安心して元気にくらすまちづくりを進めるなど、「健康福祉・教育分野などの振興」をはかる。

(主な施策)

神戸医療産業都市構想の推進
次世代スーパーコンピュータ整備支援・利用事業の推進
「デザイン都市・神戸」の推進
企業誘致の推進
中小企業活性化総合支援事業
神戸挑戦企業等総合支援事業
中小企業活性化プログラムの推進
商店街・小売市場による地域力アップ事業
神戸観光の魅力発信の充実強化
農漁業ビジョンの推進と不耕作地対策事業
市民福祉計画等の推進
保育所待機児童の解消
介護保険サービス基盤の整備
(仮称) 神戸こども初期急病センター整備の推進

担当 庶務課 経済政策係 内線 3815
直通 322 - 5323